

## みんなキラッキラ

校長 武井 正明

あんなに爽やかな日が続いていたのに、あっというまに新潟も梅雨に入った。希望が丘コートは終日雨だろう。大事な舞台だ。いいコンディションでやらせてあげたいが…。

心配して入った会場だが、若干風があるものの、ずっとコートの状態はいい。

昨年、彼らを見た時は、まだ5月なのに灼熱の眩しい陽射しの下だった。今日は一転ペタッとするような湿気がちな、小雨の中での戦いとなった。



前日、男女ともに団体県大会出場を決めた。ぜひこの勢いに乗って力を発揮してほしい。カメラで彼らを追っていると、一年前を思い出した。

コートで吠えた彼も、今やぐっと落ち着いたプレイヤーに成長した。まだ背が高くなかった彼も、相当背が伸びたな。ペア同士の手のタッチ、いいなあ。これを青春と言わずして、何と言おうか。キラッキラで羨ましい。俺もやってみたい。カッコいい。

彼らの友情がこの先の人生でも、ずっと続いて行ってほしい。雨は止まなかったが、爽やかな気分で希望が丘を後にした。



お昼に長岡市体育館に着いた。男子は強豪越路に苦杯をなめた。女子は団体県大会出場を決め、これから決勝戦、というところだった。

彼女たちもあれから一年が経つ。もちろん上手くなったし、体に力強さも加わったような印象を受ける。

選手たちの成長もさることながら、私が嬉しかったのは、スタンドで応援していた彼女たちだ。一生懸命声を張って笑顔で応援している。どの顔も実に爽やかだ。

「応援しているこっちまで暑くなる」「応援は声が大きければいいんだよね」その通り。あなたの声は、き

と選手に届いている。私は中学時代、仲間のために応援をするような人間ではなかった。だから、あなたの精神の成熟度に感心し、敬意さえ感じてしまう。

応援している君たちも青春のだ真ん中。キラッキラに輝いて満喫している。全員が主役。いいなあ、若いって…。

